全国港湾４役、単組委員長、新年のあいさつ

全港湾・松本耕三

新年おめでとうございます。昨年九月、安倍自公政権は集団的自衛権行使のために、戦争法制を制定しました。戦争への危機は急速に強まっています。港湾産別にとって、戦争は許さないたたかいは正念場を迎えています。

一方、医療・年金などの社会保障が引き下げられ、国民負担が増大している中で、消費税増税一〇％が強行されようとしています。史上最高の利益をあげている大企業に対しては法人税引き下げなどの優遇措置をしており、その穴埋めのために国民への増税をするとどですから全くひどい増税です。

私たちの働く環境に影響する労働関係法制の改悪も進んでいます。昨年改悪された労働者派遣法は、原則として派遣労働者の受け入れが無制限に拡大できるようにしました。また、残業代をゼロにする労働基準法の改悪案が通常国会に出されようとしています。これでは、長時間労働をますます拡大させることになりかねませんし、「ブラック企業」の違法雇用を容認するものです。そして、昨年十月から、違法解雇、不当解雇も金銭和解にしてしまう解雇自由法制の検討会も始まっています。労働組合の活動家を狙い撃ちにし、労働運動の弱体化を狙うものです。

このような政策は、大企業の利益を歯止めなく拡大し、労働者をさらに貧困にさせるものです。一部の者だけが豊かになっても、最大の消費者である労働者の貧困をなくさないかぎり景気の回復はありえません。

港湾の雇用保障、認可料金の復活の要求はもとより、港湾年金の制度改定、産別協定における懸案事項である定年延長・時短・分母の取り組み、そして地区団体交渉権の確立など、具体的課題も山積しています。厳しい情勢であるからこそ、平和のためにも、われわれの労働環境改善のためにも、港湾産別一体となった団結が重要です。

わたしたち全港湾も各組合との連帯を大切にし、全国港湾運動の強化を最重要課題として取り組んでいきたいと考えています。ともに頑張りましょう。

日港労連・柏木公廣

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

また、年末年始作業にあたられた組合員の皆さん大変ご苦労様です。私は全国港湾第八回定期大会において副委員長に選任されました柏木です。よろしくお願い致します。

近年は地震、火山の噴火や異常気象による風水害等の発生が増しています。

そして昨年も全国各地で大規模な自然災害が多く発生し、多大な被害が発生しております。私たちが働く現場のほとんどが屋外であり、水際です。気象状況に左右される仕事であり現実に強風等で被害も出ています。それらも含む現場から上がってくる様々な安全に関する事柄を中央安全委員会で取り上げ、今後も現場の事故災害を無くすよう頑張りたいと思います。

昨年は安倍政権が安保法制の改悪や労働法制の改悪を強引に推し進めた年でもありました。全国港湾や地区港湾はこれらに対し反対の行動を展開し積極的に抗議集会等に参加しました。

経済政策でもアベノミクスによる恩恵は限られた極一部の産業や人達だけでした。大多数の労働者は賃上げの効果はなく消費増税や円安による諸物価の高騰や社会保障費の値上げ等々で可処分所得は増えていないのが実態です。安倍政権は大企業を優遇し労働者に犠牲を強いる政権だというのを実感した年でもありました。今年の参院選では一強の恐ろしさを感じて投票したいものです。

一方、港湾情勢は中国経済減速から取扱いが減少している港もあり今後の情勢が懸念されています。また、今後も更に規制緩和が進むと予測されており、我々の雇用と職域を守る運動を強力に展開しなければなりません。

一六春闘では一四春闘協定ならびに二五春闘協定の履行を追求し二一六春闘課題に継承するとしています。春闘要求課題は多くありますが、まずは適正な賃上げを獲得し、安定した雇用とくらしを確保しなければならないと思います。

何れに致しても組合員の団結が不可欠であり、全国港湾の旗の下、ともにがんばりましょう。

本年が、ご家族を含めた組合員にとって良いとしてありますように祈念申し上げて新年のご挨拶に返させていただきます。

検定労連・遠藤一幸

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

安倍政権の下、円安が進み、原油安の恩恵まで加わり大企業は空前の利益を上げています。株価は上昇し大株主は労せずして巨万の富を手に入れましたが、労働者への賃上げは円安による物価上昇に追い付かず、全く景気の好転を実感できていません。社会保障費の削減や消費税増税の一方で法人税減税を行ない、大企業が儲け易くするための規制緩和を推し進めています。

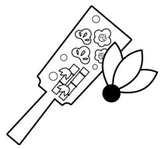
政策の失敗を覆い隠すように発表した「新三本の矢」は、政策というより目標であり、「矢」ではなく「的」です。的外れな政策が続けば、貧困と格差は更に深刻な状況となるでしょう。大企業や大金持ちには相応の負担を求め、庶民生活が潤う政治への転換が必要です。

また関税と非関税障壁の撤廃が原則のTPPへの参加により農業破壊が懸念されますが、国の主権と民主主義に係わる問題でもあります。食の安全基準や保険制度、労働力の自由化など、交渉力の強い国のルールが押し付けられ、国内法よりも優先されるからです。多国籍企業が儲けやすくするために国を売る売国政策は阻止しなくてはなりません。

昨年の国会では二百四十五日間にも及ぶ会期を費やし「安保法案」が可決されました。憲法審査会の参考人となった高名な憲法学者の全てが違憲表明をし、国会審議の中で戦争に巻き込まれる危険性が明らかになる中で、民意を無視した強行採決が行われました。

廃案を求める各野党を最後まで励まし突き動かしてきたのは「総がかり実行委員会」が中心となり、今まで政治的な問題に無関心と思われていた学生や主婦層を含む国民的な大運動です。そして法案成立後は、立憲主義を蹂躙した傲慢な権力者を選挙によって少数派に追い込むための行動として継続されています。

今年は国政選挙の年です。国民が政治に振り回されるのではなく、国民の運動が政党・政治家を動かし政治を変えて行く流れを大切にしたいものです。私たち労働組合もその運動の中に居ます。共に頑張りましょう。



検数労連・沖原勝治

新年あけましておめでとうございます。

全国港湾に結集する組合員とそのご家族の皆さんの二〇一六年がより良い年になる事を心より祈念致します。

昨年は、安倍首相の「戦後七〇年談話」が発表され、その要旨は『先の大戦への深い悔悟の念と共に、不戦の誓いを堅持してきました……』でした。一方で、九月には集団的自衛権が限定的行使可能となる安保関連法案を強行採決しました。このことは、戦後の安保政策の大転換を迎えることとなり、今後、私たちは、「港湾を兵站基地にさせない」「政府の不戦の誓い」を守らせる運動が大きく求められています。

港湾関係では、中国経済の低迷による影響が昨年初より出はじめ、港湾での取扱量が段々と落ち込んできています。残念ですが、円安による輸出増や好調な自動車関係の影響は限定的な状況となっています。

「戦後七〇年談話」が発表されたアベノミクスも少し息切れ状態となってきた感が否めません。一部の大企業だけに利益が留まるのではなく、日本経済全体が好循環になるためにも、物価上昇率を上回る賃上げを実施させ、みんなの個人消費による購買力を高め、内需拡大による経済の好循環が進むことに確信をもって取り組んで行きます。

全国港湾としても、皆さんが昨年よりもっともっと良い年になるよう団結と信頼による全国港湾運動を構築することを申し上げ、新年にあたってのご挨拶とします。

全倉運・西牟田毅

皆さん、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年二〇一五年のトピックを二つ取り上げさせていただきます。

まず一番目に安全保障関連法案が多くの法学者・有識者の方々が〝違憲〟であるという指摘をしたにもかかわらず可決されてしまったことです。たとえ議席上の数の力が非常に大きなものだとしても、これだけの異議を表明した中で進めてしまったことは、我が国の将来の危うさを少々感じることになったのではないでしょうか。日本の平和や国民生活のために政治がきちんと行われているか、我々ももっと興味を持っていかなければならないと感じさせられました。

二番目のトピックとしては、ラグビーW杯の日本代表の活躍は記憶に新しいことだと思います。開催前にあれだけの快進撃を遂げるとはだれが予想したでしょうか？五郎丸選手のようなスター選手に注目が行くことについては、同じ九州がルーツの人間としては非常に喜ばしいことではあるのですが、やはりチーム一丸となった結束力のたまものであると思いました。組合活動について考えても〝結束〟することが大事であることを再認識いたしました。

目下、来るべき二〇一六春闘に向け委員長・書記長をはじめとする執行部で準備を進めているところではありますが、港で働く皆さんと一致団結し、港湾産業で働く労働者の皆さんの生活向上のために引き続き微力ではありますが頑張っていきたいと思います。

今年は申年です。私的なことでありますが年男になりますので、その年齢に相応しい中身の備わった大人の男になりたいな、と考えております。

最後になりますが、二〇一六年が皆さんやご家族にとっていい歳となることを心から祈念いたしまして新年のあいさつと致します。みなさん、ともに頑張りましょう。

大港労組・小嶋敏弘

組合員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

二〇一四年一二月に行われた衆議院総選挙で自民党・公明党の与党が圧勝し三分二超をとりました。これにより安倍政権は続投することになりました。

政府は、雇用は増え労働者の賃金は上がっていると言いますが正規労働者の雇用は減少し労働者の実質賃金は下がっています。非正規労働者が増えつづける中で労働者派遣法の改悪や自衛隊法・戦争関連法案の改悪などやりたいほだいです。

港を職場とする私達は中小企業がほとんどの会社であり春闘での賃金上昇はまだまなりません政府はもっと中小企業対策に力を注ぐべきです一部の大企業を中心とした政策では中小企業の労働者の労働条件は上がりません。

このような状況の中で、全国港湾は全国の仲間と共に一致団結した闘いに勝利できるように大阪港湾労働組合もその力になれる要に頑張りたいと思います。

全国港湾・玉田雅也

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。働く者が、希望を胸に、「あしたも頑張ろう！」と生き生きと暮らせる、そんな二〇一六年になることを願ってやみません。その願いに一歩でも二歩でも近づけるように努力を続けたいと思っています。今年は申（さる）年です。「申（さる）年」のいわれとして、「悪いことが去る」「病が去る」とされ、「いい年、幸せがやってくる年」と言われています。

昨年は、戦争法や労働者派遣法の改悪が強行採決されて、働く者の大きな意味での社会環境が、まさに激変した（激変させられた）年でありました。おまけに、憲法の否定がまかり通ることが繰り返されました。このような、悪い年が去ることは、大いに歓迎すべきですが、「いい年、幸せがやってくる」という年になるかどうかは、私たち主権者の選択にかかっていると思います。

いい年になるよう、労働組合としてみんなで力を併せて頑張りたいと思います。昨年は、ラグビーが一躍注目されました。南アフリカ戦の残り数分の逆転劇は感動的で、多くの人々の心を動かしました。楕円のバスを仲間に託してトライに持ち込む様は、人と人とのつながり、仲間の連帯の力強さを彷彿するもので、熱いものがこみ上げてきました。また、「スクラムトライ」は、労働組合の行動を象徴するような動きに見て取れました。まさに、団結の力、連帯の相互信頼の力と感じ取りました。

悪い年が去り、「幸せな年」がくるように、仲間の力と知恵を信じ、がっちりと組んだスクラムの強さで前進していく、そんな労働組合、全国港湾でありたいし、そのために、微力であっても、自らの役割は何かを問いつづけながら、その役割を発揮し、努力し続ける一年にしたいと決意しているところです。

一六春闘が始まろうとしています。職場・地域の団結、スクラムこそ厳しさを切り開く力であることに確信して頑張り続けたいと思います。

全国港湾・市川康太郎

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の世相を表す漢字は「安」でした。多くの国民の反対を押し切って、安保法制を衆参両院で強行採決したことから、国民の不安からか。私たち全国港湾も戦争法反対の取り組みを全国の港で取り組みました。

昨年の八月末から九月にかけて、全国で五千名近い組合員が参加した取り組みになりました。

自公政権は国会を開催しないまま、TPPの大筋合意や原発再稼働、辺野古新基地建設の強行、どれをとっても国民には受け入れがたいものばかりです。

一方で、東芝の不正経理事件や杭打ちデータ改ざん事件、新国立競技場白紙撤回など見るにつけ、戦後七十年の節目の年に日本が壊れつつあると思えました。

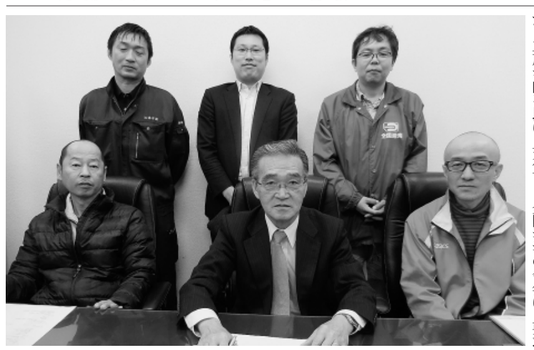
全国港湾は戦争法反対と合わせて、派遣法改悪反対にも積極的に取り組んできました。正社員ゼロ社会を作り出す労働法制の規制緩和は日本を壊す最大の原因と思います。

今年は連合化九年目になります。一六春闘の前進と合わせて、辺野古新基地建設反対の運動を取り組みます。なぜ、今日段階で日本に新しい基地建設か、日米ガイドラインで米国に約束したからであり、国民より日米同盟を上におくという本末転倒です。

夏の参議院選挙に向けて、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合が結成されました。全国港湾は今度の選挙において、戦争法反対の共同歩調を取ってきた諸政党が多数を取るように選挙権の行使を呼びかけています。安倍政権の暴走を食い止めるたたかいに取り組む決を込めて、新年のあいさつとします。

みなさまにとって今年が良い年になりますように祈念いたします。

教宣委員会 今年もガンバリます！



初春を、お喜び申し上げます。

今年は、申（さる）年です。猿と言えば、西遊記の孫悟空を思い浮かべますが、三蔵法師を助け、天竺で経典を手に入れたという話は、皆様も覚えていることと思います。昔は、猿は山の賢者とされ、山神と信じられていました。

全国港湾の今年は、要求実現のため、何にも勝る〝ボルル〟スクラムで、猿（エン）ジン全開で頑張りましょう。

さて編集委員の今年の抱負は、

（外池）ITC化推進と機関紙の充実に、頑張ります。

（片柳）暦が申年でも私は兎年です。メケズに頑張ります。

（岡部）本年は「申年」？身軽に飛び回りたいと思います。

（石渡）より充実した機関紙にできるよう頑張ります。

（吉岡）本年も頑張ります。よろしくお願い致します。

（藤木）じゅ、じゅ十億円が、さる初夢は、追わず、今年も頑張ります。

組合員・ご家族の皆様にとって、本年のご健勝とご活躍とともに、よりよい年となるよう、祈念いたします。